

いざという時に、居住者同士で助けあえるか？ “共助力”の高い分譲マンションは、 理事会と管理会社が、居住者の交流を積極的に支援 ～マンション管理とコミュニティについての調査2022（首都圏）～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の住まい領域の調査研究機関であるSUUMOリサーチセンターは、人々の自分らしい人生を応援するために「住まいの価値」を提言・実証する研究を進めております。昨今多発する自然災害における防災・減災の観点から、隣近所同士で助けあう“共助”の意識を高めることが大切と考え、2004～2020年の間に首都圏の新築分譲マンションに入居した購入者を対象に、“分譲マンションの共助力”に関する調査・分析を実施しましたのでご報告いたします。

調査トピックス

1. 分譲マンションの“共助力”は低下傾向（p3）

▶「マンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と思う人は、2022年全体で32.3%、初回の2016年調査の40.1%から7.8ポイント減少

2. コロナ禍を経て、分譲マンション内のイベントが減少（p3）

▶「居住者向けのイベントに積極的に参加している」と思う人は2022年全体で27.0%、前回の20年調査（20年2～3月実施）から7.0ポイント減少

3. 居住者間で「頼みごとができる人」は、“共助力”が高い（p5）

▶頼みごとができる人が、「マンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と思う割合は67.6%と高く、頼みごとができない人の22.0%とは45ポイント以上の差

4. 理事会が居住者同士の交流を積極的につくっているマンションは、“共助力”が高い（p5）

▶理事会が「居住者同士の交流を積極的につくっている」と思う人のうち、「マンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と回答した人の割合は56.0%

5. 管理会社が居住者の交流を積極的に支援しているマンションは、“共助力”が高い（p6）

▶管理会社が「居住者の交流を積極的に支援している」と思う人のうち、「マンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と回答した人の割合は49.5%

解説

コロナ禍に直面したこの2年半、恒例のイベントを中止し、共用施設の利用をたびたび停止にする分譲マンションが多くありました。管理組合理事の任期が2年だとすると、居住者間交流のノウハウ継承がストップしたことになります。災害時など“いざという時の共助力”への影響は、これからさらに大きくなる可能性があるでしょう。理事会や管理会社の努力だけに頼ることなく、居住者各々が自助・共助を意識し、「頼みごとができる」関係性を築いていく必要性を感じます。また、居住者同士が普段から交流できなくとも、いざという時に何をすべきかわかる状態をつくっておく“共助の仕組み化”も重要だと考えます。



SUUMO副編集長
SUUMOリサーチセンター
研究員
江原 亜弥美

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

調査概要

調査名

マンション管理とコミュニティについての調査2022（首都圏）

調査対象

- 「首都圏新築マンション契約者動向調査」「マンション購入後の満足度及びブランドに関する調査」（ともに弊社実施）の協力者のうち、2000年以降に首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県）の新築マンションを契約し、2004～2020年の間に入居、現在も同じマンションに住んでいる人。

調査方法

- WEB調査（メールアドレス判明者）：協力依頼メールに「契約者動向調査」回答時の購入マンション名を表示し、現在も同じマンションに住んでいる方のみ、WEB画面から回答をいただいた。
- 郵送調査（メールアドレス不明者）：「契約者動向調査」回答時の購入マンションの住所に調査票を郵送。宛名ラベルに購入マンション名を表示し、現在も同じマンションに住んでいる方のみ、回答済みの調査票を返送いただいた。

調査期間

- WEB調査 : 2022年2月3日（木）～2月28日（月）
- 郵送調査 : 2022年2月3日（木）～3月7日（月）

発送数と回収数

- WEB調査 : 発送 21,890 回収 4,512 （回収率20.6%）
- 郵送調査 : 発送 2,617 回収 1,076 （回収率41.1%）
- 合計 : 発送 24,507 回収 5,588 （回収率22.8%）

過去調査の実施概要

調査年	入居年	調査期間	発送数と回収数								
			全体			WEB			郵送		
			発送	回収	%	発送	回収	%	発送	回収	%
2016年	2004～2014年（入居2～12年目）	2016年2月26日（金）～4月26日（火）	22,894	6,304	27.5	20,040	5,205	26.0	2,854	1,099	38.5
2018年	2004～2016年（入居2～14年目）	2018年2月15日（金）～3月5日	25,582	5,495	21.5	22,832	4,435	19.4	2,750	1,060	38.5
2020年	2004～2018年（入居2～16年目）	2020年2月6日（木）～3月2日（月）	29,560	6,462	21.9	27,003	5,544	20.5	2,557	918	35.9

※2018,2020年はWEB調査時に回収件数の上限を設定

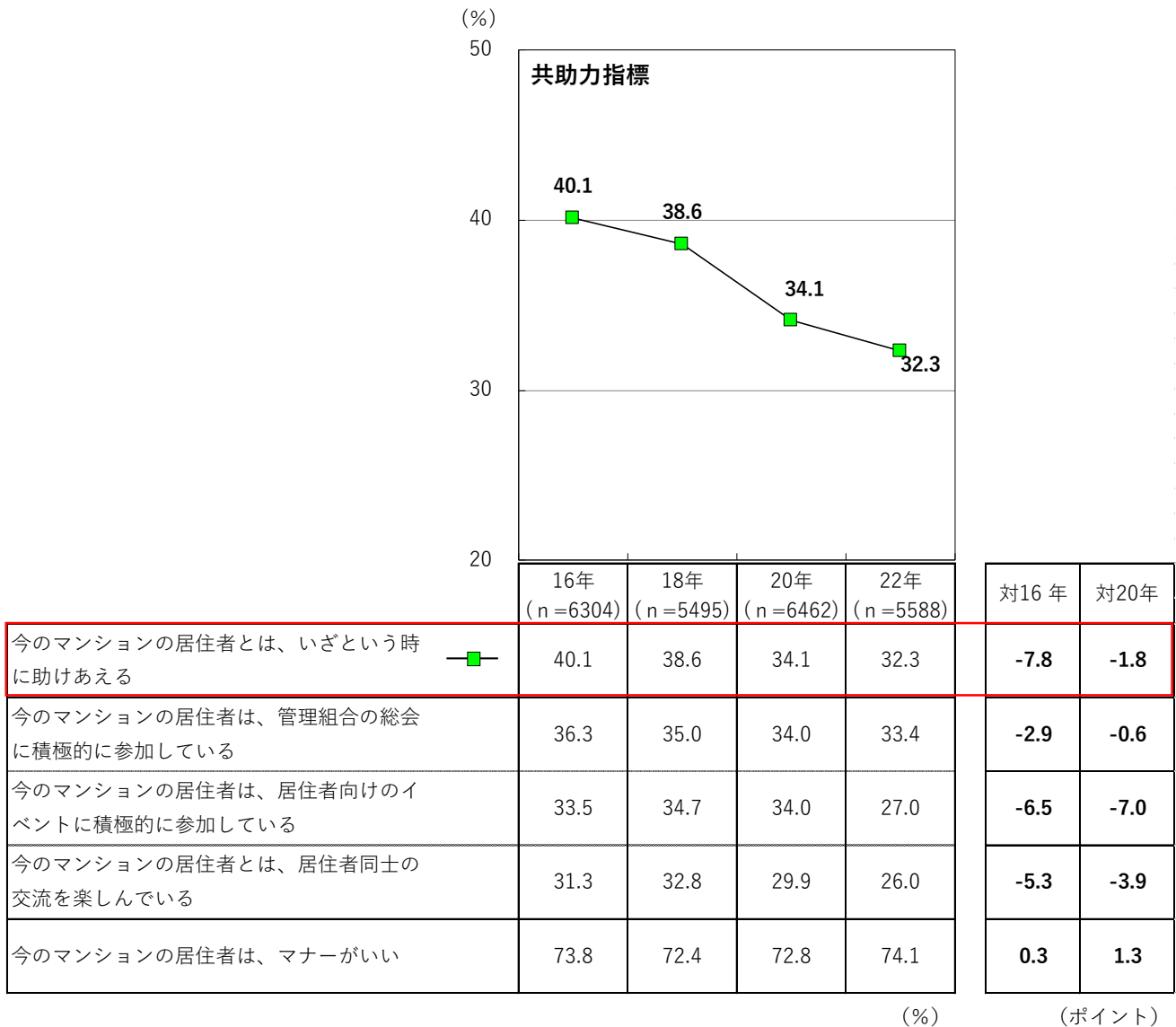
「分譲マンションの共助力」指標

- 「あなたは、今のマンションの居住者についてどのように思いますか。」という設問のうち、「今のマンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」という内容に対して5段階評価（とてもそう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・全くそう思わない・わからない）で回答を聴取。「とてもそう思う・ややそう思う」と回答した割合の合計を「分譲マンションの共助力」指標として分析した。

分譲マンションの“共助力”は、低下傾向に

- ・分譲マンションの“共助力”を測る指標として、「マンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」と思う人の割合を算出
- ・全体の“共助力”は低下傾向で、初回の16年調査から7.8ポイント減の32.3%
- ・コロナ禍前の前回調査と比較すると、「居住者向けのイベントに積極的に参加している」と思う人の割合は7ポイント減、「居住者同士の交流を楽しんでいる」と思う人の割合は3.9ポイント低下
- ・「今のマンションの居住者は、マナーがいい」と思う人は74.1%で、初回の16年調査からほぼ差なし

Q、あなたは、今のマンションの居住者についてどのように思いますか。
 (それぞれ単一回答/5段階評価/表中は「とてもそう思う」「ややそう思う」の割合)



※2016年調査は2016年2月26日～4月26日実査、2020年調査は2020年2月6日～3月2日実査。

“共助力”が高いのは、大規模物件、子育てファミリー、長期入居者

- ・総戸数別では、300戸以上の大規模物件の“共助力”が高く39.8%、総階数別では大差なし
- ・ライフステージ別では、子育て世帯（夫婦+子ども）の“共助力”が高く38.8%
- ・世帯年収別では、年収が高くなるほど“共助力”が高まる傾向
- ・入居年別では、長期入居者ほど“共助力”が高く、入居11年目以上では37.8%

Q、あなたは、今のマンションの居住者についてどのように思いますか。（22年全体／単一回答）
「今のマンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」

		とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	わからない	無回答	思う・計 (共助力)
●凡例								
全体 (n=5588)		4.2	28.1	23.9	14.3	29.3	0.2	32.3
エリア別	東京23区 (n=2249)	4.5	23.9	24.6	17.2	29.8	—	28.4
	東京市部 (n=606)	4.0	33.3	20.5	12.0	29.7	0.5	37.3
	神奈川県 (n=1290)	4.2	31.0	22.9	13.4	28.1	0.4	35.2
	千葉県 (n=723)	5.3	30.3	24.6	10.9	28.8	0.1	35.5
	埼玉県 (n=676)	2.7	29.4	24.7	12.3	30.9	—	32.1
	茨城県 (n=44)	2.3	29.5	34.1	15.9	18.2	—	31.8
総戸数別	100戸未満 (n=2216)	3.1	23.5	22.6	17.8	32.9	0.1	26.6
	100～300戸未満 (n=1674)	4.2	28.2	24.6	13.3	29.6	0.1	32.4
	300戸以上 (n=1698)	5.8	34.0	24.7	10.9	24.3	0.3	39.8
総階数別	19階以下 (n=4814)	4.2	27.9	23.2	14.4	30.1	0.2	32.1
	20階以上29階以下 (n=282)	2.5	29.8	26.2	14.5	26.6	0.4	32.3
	30階以上 (n=415)	5.5	29.4	30.4	13.5	21.0	0.2	34.9
坪単価別	200万円未満 (n=2391)	4.7	32.7	24.3	11.3	26.9	0.2	37.4
	200～300万円未満 (n=2189)	3.9	24.7	23.7	16.0	31.5	0.2	28.6
	300～400万円未満 (n=745)	3.9	26.3	25.0	16.0	28.7	0.1	30.2
	400万円以上 (n=165)	3.6	13.3	18.2	29.1	35.2	0.6	17.0
年代別	20代 (n=48)	2.1	16.7	22.9	27.1	31.3	—	18.8
	30代 (n=1503)	5.6	24.0	23.5	16.2	30.4	0.3	29.6
	40代 (n=2321)	4.4	31.1	24.0	13.4	27.0	0.1	35.5
	50代 (n=1157)	3.0	27.4	22.9	13.9	32.6	0.2	30.4
	60代以上 (n=535)	2.2	29.7	26.9	12.7	28.0	0.4	32.0
ライフステージ別	本人のみ (n=622)	1.9	15.6	20.3	24.0	38.1	0.2	17.5
	夫婦のみ (n=1361)	2.3	22.0	23.5	17.6	34.4	0.1	24.3
	夫婦+子ども (n=3398)	5.5	33.3	24.7	11.1	25.3	0.2	38.8
	その他 (n=202)	2.5	20.3	22.8	17.8	36.6	—	22.8
世帯年収別	500万円未満 (n=316)	2.2	21.8	25.3	16.5	33.9	0.3	24.1
	500～700万円未満 (n=694)	4.2	24.1	23.6	15.3	32.7	0.1	28.2
	700～1000万円未満 (n=1534)	3.7	28.8	23.4	14.1	29.9	0.1	32.5
	1000～1500万円未満 (n=1868)	4.3	29.6	24.1	14.3	27.5	0.2	33.9
	1500万円以上 (n=961)	6.0	29.2	24.3	13.2	27.0	0.2	35.3
入居年別	入居11年以上 (n=1827)	4.2	33.6	24.6	12.0	25.5	0.1	37.8
	入居7～10年目 (n=1235)	4.8	30.0	25.4	12.6	26.9	0.2	34.8
	入居2～6年 (n=2526)	4.0	23.2	22.6	16.8	33.3	0.2	27.2

(単位：%)

※今回調査全体値より5ポイント以上高い数値■、5ポイント以上低い数値■で網掛け

居住者同士の関係性を構築し、“共助力”を育む理事会の努力

- ・マンションの居住者同士で「立ち話をする人」「頼みごとができる人」は“共助力”が高く、特に「頼みごとができる人」の“共助力”は、67.6%
- ・マンション内で「挨拶をする人」は9割近くを占めるが、「立ち話をする人」や「頼みごとができる人」は2～4割程度にとどまる
- ・理事会の特徴別に“共助力”を見ると、「理事会は居住者の交流機会を積極的につくっている」と回答した人の“共助力”は56.0%と高く、「思わない・わからない」人とは30ポイント以上の差
- ・その他、理事会に「管理組合の運営を楽しんでやっている」「リーダーシップがある」などの特徴があるマンションでは、“共助力”が高い
- ・一方、「理事会は管理組合の運営を楽しんでいる」と思う人の割合は15.6%と少なく、「居住者同士の交流機会を積極的につくっている」理事会も24.0%にとどまる

Q、あなたは、今のマンションの居住者についてどのように思いますか。（22年全体／単一回答）
「今のマンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」

		とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	わからない	無回答	思う・計 (共助力)	
●凡例									
全体	(n=5588)	4.2	28.1	23.9	14.3	29.3	0.2	32.3	
居住者 間コ ミュニ ケー ション	マンション内ですれ違 う際に、挨拶をする人	いる・計 (n=4857)	4.7	30.9	23.5	12.1	28.7	0.2	35.6
	いない・計 (n=715)	0.7	9.7	26.0	30.1	33.4	0.1	10.3	
顔 を 合 わ せ る 人	顔を合わせると立ち話 をする人	いる・計 (n=2091)	8.6	46.4	20.4	6.1	18.3	0.2	55.0
	いない・計 (n=3483)	1.6	17.1	25.9	19.4	35.9	0.1	18.7	
頼 み ご と が で き る 人	頼みごとができる人	いる・計 (n=1258)	13.1	54.5	17.6	2.7	12.1	0.1	67.6
	いない・計 (n=4312)	1.6	20.4	25.6	17.8	34.4	0.2	22.0	
居 住 者 同 士 が 交 流 で き る 機 会 を 、 積 極 的 に つ く っ て い る	思う・計 (n=1342)	10.8	45.2	21.3	4.2	18.2	0.2	56.0	
	思わない、わからない・計 (n=4232)	2.1	22.7	24.6	17.6	32.8	0.2	24.8	
理 事 会 の 様 子	理事会にリーダーシッ プを感じる	思う・計 (n=2006)	7.6	42.1	22.2	6.5	21.5	0.1	49.7
	思わない、わからない・計 (n=3564)	2.3	20.3	24.8	18.8	33.7	0.2	22.6	
管 理 組 合 の 運 営 を 、 企 業 経 営 の 視 点 で 行 っ て い る	思う・計 (n=1117)	10.8	44.2	21.5	5.8	17.4	0.3	55.1	
	思わない、わからない・計 (n=4458)	2.6	24.0	24.5	16.5	32.3	0.2	26.6	
管 理 組 合 の 運 営 を 、 楽 し ん で や っ て い る	思う・計 (n=872)	14.3	48.7	20.2	4.7	11.8	0.2	63.1	
	思わない、わからない・計 (n=4700)	2.4	24.3	24.6	16.1	32.5	0.2	26.6	

※今回調査全体値より10ポイント以上高い数値■、10ポイント以上低い数値■で網掛け

(単位：%)

Q、あなたが、次のようなおつきあいをしている人は、今のマンションにどのくらいいますか。
(22年全体／単一回答)

		たくさんいる	何人かいる	あまりいない	全くいない	無回答	いる・計 (共助力)	
●凡例								
居住者間コ ミュニケー ション	マンション内ですれ違 う際に、挨拶をする人	(n=5588)	41.7	45.2	9.1	3.7	0.3	86.9
顔 を 合 わ せ る 人	顔を合わせると立ち話 をする人	(n=5588)	3.2	34.2	26.7	35.6	0.3	37.4
頼 み ご と が で き る 人	頼みごとができる人	(n=5588)	1.7	20.8	22.8	54.3	0.3	22.5

(単位：%)

Q、あなたのマンションの管理組合の理事会は、次のことにあてはまりますか。
(22年全体／単一回答)

		とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	わからない	無回答	思う・計 (共助力)	
●凡例									
理 事 会 の 様 子	居住者同士が交流できる機会を、積極的につくっている	(n=5588)	4.4	19.6	34.4	30.7	10.7	0.3	24.0
	理事会にリーダーシップを感じる	(n=5588)	7.0	28.9	30.5	12.9	20.4	0.3	35.9
	管理組合の運営を、企業経営の視点で行っている	(n=5588)	3.4	16.6	30.1	15.7	33.9	0.2	20.0
	管理組合の運営を、楽しんでやっている	(n=5588)	2.8	12.8	29.0	14.6	40.6	0.3	15.6

(単位：%)

管理会社のサポートは、マンションの“共助力”に大きく寄与

- ・管理会社の特徴別に居住者の“共助力”を見ると、管理会社が「居住者の交流を積極的に支援している」マンションは、共助力が特に高く49.5%
- ・その他、管理会社に「緊急時や非常時に頼りになる」「居住者のニーズをよく考え、サービスを提供している」といった特徴があるマンションでは、“共助力”が高い
- ・一方、管理会社が「居住者の交流を積極的に支援している」と評価した人は、3割強と少数派

Q、あなたは、今のマンションの居住者についてどのように思いますか。（22年全体／単一回答）
「今のマンションの居住者とは、いざという時に助けあえる」

		とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	わからない	無回答	思う・計 (共助力)
●凡例								
全体 (n=5588)		4.2	28.1	23.9	14.3	29.3		0.2 32.3
今の管 理会 社に あて はま る こ と	緊急時や非常時に頼りになる	7.3	38.7		23.4	8.0	22.4	0.2 46.0
	自然災害への備えを積極的に支援している	7.2	36.9		23.8	8.6	23.3	0.2 44.1
	居住者の交流を積極的に支援している	8.9	40.6		21.9	6.7	21.8	0.2 49.5
	理事長や理事へのサポートが充実している	6.1	34.1		23.8	10.8	25.1	0.1 40.2
	居住者のニーズをよく考えて、さまざまなサービスを提案している	8.2	37.7		22.7	7.5	23.7	0.2 45.9
	緊急時や非常時に頼りになる	1.5	19.1	24.3	19.8		35.1	0.2 20.6
	自然災害への備えを積極的に支援している	1.7	20.6	23.9	19.4		34.3	0.1 22.2
	居住者の交流を積極的に支援している	1.9	21.9	24.8	18.2		33.0	0.2 23.8
	理事長や理事へのサポートが充実している	2.0	21.4	23.9	18.5		33.9	0.2 23.4
	居住者のニーズをよく考えて、さまざまなサービスを提案している	1.9	22.5	24.5	18.4		32.5	0.1 24.4

※今回調査全体値より10ポイント以上高い数値■、10ポイント以上低い数値■で網掛け

Q、今の管理会社は、次のことにあてはまりますか。（22年全体／単一回答）

		とても そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	わからない	無回答	思う・計 (共助力)
●凡例								
今の管 理会 社に あて はま る こ と	緊急時や非常時に頼りになる	14.4	30.9	15.8	4.7		33.2	1.1 45.3
	自然災害への備えを積極的に支援している	13.2	31.8	18.6	5.1		30.3	1.1 45.0
	居住者の交流を積極的に支援している	8.8	23.6	28.9		15.2	22.3	1.2 32.4
	理事長や理事へのサポートが充実している	15.4	35.8	13.3	3.9		30.1	1.5 51.2
	居住者のニーズをよく考えて、さまざまなサービスを提案している	9.4	26.3	27.3	7.7		27.7	1.6 35.7

CASE 1 参加率7割超、管理会社のノウハウを活用したリモート防災訓練



2021年9月に実施したリモート防災訓練。140を超える世帯がZoomに参加した（写真提供／ザ・パークハウス 横浜新子安ガーデン管理組合法人）

2年連続リモート防災訓練 21年は“完全オンライン”に

感染対策に配慮し、2020年9月、2021年9月と2年連続でリモート防災訓練を行ったのが「ザ・パークハウス 横浜新子安ガーデン」（神奈川県横浜市神奈川区・総戸数497戸・3棟構成）。2020年は棟別に時間を分けたリアルでの避難訓練などを含むハイブリッド型でしたが、2021年は完全オンライン型に移行しました。「住人専用アプリを用いた安否確認報告後、マンション内のAED、防災倉庫などを中継で確認しました。チャット機能などを通して多くの住人の意見をお聞きできたのは、リモート防災訓練ならではの収穫だと思います。現在、より一層の防災意識の向上を目指し『よこはま防災力向上マンション認定制度』の取得を検討中です」（管理組合法人 防災担当）



左／2021年10月、ソーシャルディスタンスに配慮してハロウィンイベントを開催 右／2022年春に実施した芋植えイベントのひとコマ（写真提供／ザ・パークハウス 横浜新子安ガーデン管理組合法人）

密を避けられる屋外も活用してイベント継続 顔の見える関係をつなぐ

以前の防災訓練は、水消火器の噴射訓練、バルコニーにある隣戸との仕切り板蹴破りといった体験型、コロナ禍以降はリモート中心ですが、参加率は7割～9割の高さを維持。背景には七夕、ハロウィン、クリスマスなど親子で楽しめる交流イベントや、交流イベント内で行われるマンション内サークル活動の成果を発表し合うステージなど、住人同士の顔が見える関係の維持があります。「コロナ禍以降も規模の縮小、感染対策を徹底してイベントを継続しています。今年は、春以外あまり活用されていなかった敷地内のチューリップ畑で球根を取り除いた後に芋植えイベントを開催しました。秋のハロウィンと収穫の芋掘りイベントを同時に行う予定です」（コミュニティ担当）

住人主体で災害時の共助力育む 管理会社の“出過ぎないサポート”

管理組合法人の取り組みをサポートする管理会社の担当者は「防災直後は救助隊だけでなく管理会社も駆けつけられず、住人の皆さんは十分な公的支援を受けられないことも想定されるため、我々は理事会と一体になって検討しつつも、あくまで住人の皆さんが主体となって取り組んでいただくようお手伝いすることを意識しています。さまざまなマンション管理で得た経験を応用した適切な訓練メニューや、他物件の成功事例などをご紹介するほか、弊社オリジナルの防災ツールも活用しています。なかでも東日本・熊本などで被災者が困ったことを「トイレ」「食糧」「情報」などの切り口で伝える「そなえるカルタ」は、2021年6月に「マンション管理組合運営版」を追加。近年増えている水害対策として、災害時の管理組合活動のノウハウを提供しています」（三菱地所コミュニティ・森下さん）

CASE 2 徹底した感染対策でイベント継続、愛着を育み共助につなぐ



2022年6月の防災訓練。人気の起震車前にできた行列は並び方に配慮するなど感染対策を講じた（写真提供／イニシア千住曙町管理組合法人）

マンションを22ブロックに分割 リーダーは“防災研修”も受講

例年6月は火災想定、9月に地震想定の方災訓練を行っているイニシア千住曙町（東京都足立区・総戸数515戸・5棟構成）。「防災はハード以上に、ソフト、つまり住人の防災意識を高く維持しておくことが大切。コロナ禍を理由に中止する選択肢はありませんでした」（管理組合法人 防災・防犯委員会担当 野崎さん）。2020年以降は感染対策を徹底。検温、消毒、集合場所を屋外に限定、人気のある起震車の行列は密にならないようにコーンを並べ、ラインに沿ってもらうように理事が誘導するなど細心の注意を払っています。「安否確認効率化のため、マンションを22のブロックに分けて、各区に『ブロック当番』を置いています。今年後半の方災訓練では、外部から地震防災の専門家を講師に招き、ブロック当番の皆さんに受講いただく予定。防災意識がさらに強化されそうです」（野崎さん）



左/JAZZライブは正面玄関の壁にプロジェクターで投影し、イルミネーションを眺めながら楽しめるように配慮した 右/2021年夏、マンション前の隅田川テラスを利用して行われた100名超のラジオ体操。（写真提供／イニシア千住曙町管理組合法人）

イベントを楽しむだけでなく、“いざという時”の共助力強化を見据えて

コロナ禍以降も、餅つき、ハロウィン、敬老の会、冬のイルミネーション点灯式など、季節のイベントを継続中のイニシア千住曙町。背景にあるのが「コミュニティ成熟＝防災共助力の向上」という考え方です。「災害時の共助力を高める手段としてのイベントと位置付けています、中止するのは簡単ですが、住人同士のつながりが弱くなる可能性も。仮に2年連続で中止していたとしたら、理事は2年任期・半数入れ替えのため、イベント運営のノウハウが継承しづらくなっていたかもしれません」（コミュニティ委員会担当 中田さん）。「このマンションの場合、首都直下地震発生時は在宅避難が基本。日ごろから住人同士のつながりを強めておくことはとても大切です」（野崎さん）

イベントにキッズボランティア参加 子どもに刺激を受けてアクションする親も

さらに、大人だけでなく、次世代のコミュニティを担うであろう子どもたちに配慮している点も見逃せません。「各イベントで小4以上を対象に、お手伝いをしてくれるキッズボランティアを募集しています。例えば今年の夏休みのラジオ体操は、ほぼ中高生ボランティアが運営。検温、体操時のディスタンス説明、参加スタンプを押す、記念品を渡すなど全般を担当しています。活動を通してマンションへの愛着を育むことが、共助力にもつながると思います」（中田さん）。子どもがボランティアに一生懸命に取り組んでいるのを見た親が刺激され、イベントの手伝いに参加したり、理事に立候補したりするケースもあるそうです。

SUUMOリサーチセンターについて

SUUMOリサーチセンターは、SUUMOの調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、一人ひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。リクルート住宅総研としての創立以来、約20年に渡って培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見とSUUMOという国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>